



町田市立鶴川第二中学校

鶴二中だより

11月「ふれあい月間」特別号

令和7年11月25日

TEL 042-734-4343

FAX 042-735-2089

「自分を大切に 周囲の人にも大切に」

校長 小島 千恵

11月は「ふれあい月間」です。そこで、人間関係の在り方について考える話を皆さんにしたいと思い掲載します。

2学期も残すところ1か月余りとなりました。様々な行事も順調に行われましたが、皆さんの学校生活は順調に進んでいますか。一つひとつの活動を大事にして取り組むことができているでしょうか。

そんな皆さんには、今、悩みがありますか。それは、1つや2つ誰にでもあるものです。私は何か悩んだり、問題を抱えている時こそ、自分が成長している時だと信じています。そう考えると前向きになることができます。

中学生に悩みアンケートを実施すると、勉強や成績、進路、家族のこと、身体のこと、部活動などとともに、必ず上位にくるのが「友人関係(人間関係)」の悩みです。友達との人間関係って難しいものです。最近はスマホのSNSを使ったコミュニケーションで、よりややこしくなっています。戒めたいものです。今日は、人間関係をうまくつくるコツのようなものを紹介したいと思います。

皆さん、「ヤマアラシ」という動物を知っていますか。外敵から身を守るために、強く鋭い針(トゲ)を全身にまっています。人間関係を上手につくるコツ、キーワードは、ズバリこのヤマアラシです。

冬の寒い日(寒空)に2匹のヤマアラシがいるとします。互いに身を寄せ合って体温で温めあうとします。しかし、それぞれ相手の針が自分に刺さり、痛くて離れるしかありません。しかし、離れると寒くて仕方がありません。近づくと痛いし……。近づきたいけど傷つきたくない。しかし、これを繰り返すうちに、一番手頃な距離を見つけることができます。絶妙な距離感是这样して自分で見つけるので

す。お互い痛みをわかり合ってこそ、温かさを感じるのです。私は、人と人との関係も同じではないかと思います。人間関係に効く予防接種やワクチンはありません。悩んでこの距離を見つけるのです。このことを「ヤマアラシジレンマ」といいます。ちなみに、ジレンマとは、相反した2つの事柄の板挟みになって、どちらとも決められない、困ったり、悩んだりする状態のことです。どうでしょう。人との関わり方の何か参考になりそうですか。コツとまではいかなくても、参考にしてみてください。

ちなみに、本当のヤマアラシと一緒に寄り添う時は、針を寝かすということです。自分の針の寝かせ方を知っていることも、人間関係を上手につくるコツですね。

自分や他人がもっている性質や能力、特徴を人と違う「ダメなもの」と決めつけたり、からかいの対象にしたりしないでほしいのです。それは、将来輝く宝石の原石かもしれないのです。そして、自分のもっている原石に気づき、磨いて光らせることは、皆さんの将来を明るくすることにつながるのです。

自分を大切に、他人も大切にすること、これができる皆さんであると信じています。人を傷つけることは絶対にあってはなりません。もう一度自分の心に向けて確かめてください。



急に寒くなってきましたね。体調を崩さないように睡眠や食事をしっかりとって元気に過ごしましょう。

生徒理解週間について



～「ふれあい月間」の取組～

6、11月は「ふれあい月間」ということで、学校では生徒のいじめ、自殺、暴力行為等の問題行為及び不登校等の早期発見・早期対応、未然防止等のために様々な取組をしております。道徳の授業や安全指導、行事後の振り返り等の工夫など、生徒たちが主体的に取り組み、考えを深められる活動に力を入れています。また、毎月の「心のアンケート」「いじめ対応チーム定例会」の実施はもちろん、教職員のいじめに関する校内研修にも取り組み、生徒たちが安心して過ごせる学校づくりを進めております。

そのような取組の一つとして、今年度は「生徒理解週間」を設定し、生徒と教員の二者面談を実施することにしました。「普段抱えている悩みや思いや考えなどを話せる場所をつくること」、「どんなことでも相談しやすい雰囲気づくりをすること」を大きな目的としています。1、3年生は10月末に実施しました。（2年生は移動教室があったため、12月の三者面談の際に実施する予定です。）

実際に行ってみると、特にその場で話すことがなく短時間で終わる生徒もいれば、勉強、部活動、人間関係などについて、困っていることや悩んでいることだけでなく、良かったことや楽しかったことの話をする生徒もいたようです。先生方も今まで知らなかった生徒の皆さんの一面を知ることでもできたようで、とても有意義な時間となりました。

先生方からも生徒の皆さんに声をかけて、話をする機会をつくっていきますが、この「生徒理解週間」をきっかけに、普段の生活の中でも生徒の皆さんから遠慮なく先生方に話しかけていただきたいと思います。

また、保護者の皆様も「ふれあい月間」や「生徒理解週間」などについて話題にしていいただきながら、より一層お子様とお話ししていただけたら幸いです。

地域でのボランティア活動

10月18日（土）、三輪小学校で行われた第34回親子レクリエーション大会で、鶴川二中の生徒たち7名がボランティアとして参加しました。様々なレクリエーション（ゲーム）を地域の小中学生が楽しめるようにお手伝いをしました。地域の方々からは、「本当によく動いてくれて、とても助かりました。ありがとうございました。」とお褒めの言葉をいただきました。

このようなイベントだけでなく、普段から多くの地域の皆様が登下校の様子を見たり、学校行事への参加を通して、鶴二中生と“ふれあい”、温かく見守ってくださっています。生徒の皆さんが、安心して様々なことに一生懸命取り組んで、大きく成長していけるように願ってくださっているからです。生徒の皆さんも機会があれば、地域の行事等に積極的に参加し、地域の皆様との“ふれあい”、交流を深めていけると良いですね。

◎第34回親子レクリエーション大会 ボランティア

参加者 **1年生 5名**
 2年生 2名

